

南丹市相談支援事業所会議（報告）

関連資料

- ※フロー図確認（資料①-2）
- ※体制図・参加機関一覧

実施について

- ※基本的に2か月に1回実施。
- ※圏域の相談支援部会・精神保健福祉部会・発達障害部会・医療的ケア部会との連動。

【内 容】

〈H30 年度〉

「その人が生活しているのは地域の中なので、その地域の中に入って相談支援業務をしていく必要がある ⇒ 地域視点を持つ」 ⇒ ネットワーク会議と連動。

- ・ネットワーク会議への参加促し（再確認）
 - ⇒ 日々の業務からの課題提起、相談支援の本来業務であるネットワーク作り。
- ・防災について … 日常時の視点だけでなく、非日常時の視点も含める。
 - ⇒ 近所の人、要配慮者台帳との連動など

□事例検討 … 事業所から事例を出してもらい、メンバーで事例検討等を実施。

〈H31 年度〉

「相談支援の質の向上」

- ・1人職場が多い。兼任業務になっている。
 - ⇒ 基幹相談との繋がりだけではなく、事業所通しの横のつながりが必要。
- 勉強会「スケジュール管理を振り返る」 … 忙しい、しんどいなどを客観的に。
- 制度改正や報酬改定があり、圏域に拡大して勉強会を実施。
- グループワーク「非日常時の視点について」 … 日頃からできること、良かった事例、反省点、難しいことなどをグループワーク。
- 事例検討 … 事業所から事例を出してもらい、メンバーで事例検討等を実施。

〈R2 年度〉

- ・コロナ禍による業務の共有や対応について。気軽に行動できていた連携の形 ⇒ 必要なことの振り返りや連携の中身を再確認できる機会。
- ・児童期～就学期～成人期などライフステージを見通した一貫したつながりの支援のため、発達支援センターもメンバーに参加。
- グループワーク「相談支援の見立て」

《R3 年度》

- ・体制づくり（横のつながり）について … R3 年度より、支援センターこひつじのセンター会議（ケース検討、研修報告、勉強会などの機会）に参加呼びかけ。別にどの事業所が主になってやってもよい取り組みへ。
- ・グループワーク「個別支援から地域視点を想像する」・「意思決定支援について」

【課題】

○ケースについて、視点について、業務についてなど
⇒会議や勉強会、研修などを実施する。で、どう行動するか、行動には至っていない。

《自覚・主体性や行動変革の必要性》

○見立て、プランニング、働きかけ、ネットワーク作りなど ⇒ 引き続き質の向上へ。

●福祉サービスだけではなく、地域で生活しているその人を支える為に、どんな地域で生活されているか、地域の協力者等との関り等の視点 ⇒ どこからどのように繋がっていけばいいか難しい。